慣用句(中級)プリント8（ルビつき）

月　日　名前

問1　「下馬評」の意味はどれですか？

1. 世間一般の人々による評判や批評
2. 特定の場所でしか話されない噂話
3. 高い地位にいる人の秘密の計画
4. 馬に乗ったまま行う公式な会議

問2　試合で地元のチームに（　）入れする。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 足
2. 肩
3. 頭
4. 手

問3　公私に（　）線を画すことで、仕事がはかどる。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 四
2. 三
3. 二
4. 一

問4　「血が騒ぐ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 蚊に刺されて血が騒ぐのでかゆい。
2. 血が騒ぐので止血剤を塗って手当てした。
3. 勝負の時が近づき、武者震いで血が騒ぐ。
4. けがをして血が騒ぐので病院へ行く。

問5　「独壇場」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 得意のピアノ演奏で彼女の独壇場となった。
2. 彼は独壇場に上がってマイクで話した。
3. 独壇場を掃除してきれいな舞台を作った。
4. みんなで話し合う独壇場を設けた。

問6　つらい練習に（　）を食いしばって耐えた。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 舌
2. 歯
3. 頬
4. 唇

問7　「肝に銘じる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 健康のために、毎日肝に銘じて運動をしている。
2. 失敗から学んだ教訓を、しっかりと肝に銘じる。
3. 大事な約束なので、紙に書いて肝に銘じた。
4. 肝に銘じて、お腹の中に薬を飲み込んだ。

問8　質問に答えず（　）を濁して話をそらした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 牛乳
2. 水
3. お茶
4. コーヒー

問9　（　）の額ほどの庭だが、花を育てている。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 猫
2. 犬
3. 狸
4. 狐

問10　「耳をすます」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 耳をすまして、音楽を大音量で流した。
2. 耳をすまして、大きな声で歌を歌った。
3. 大きな音で耳をすますと、鼓膜が痛くなる。
4. 静かな夜、遠くの物音に耳をすます。

問11　「気をもむ」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 気をもむほどに忙しい毎日を過ごす。
2. 試合の結果が気になり、ずっと気をもむ。
3. 気をもんでパン生地を丸く整えた。
4. マッサージで肩の気をもんでもらう。

問12　彼は事件について（　）を閉ざした。（　）に入る言葉はどれですか？

1. 口
2. 耳
3. 足
4. 手

問13　「手をこまねく」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 手をこまねいて、重い荷物を運ぶ準備をした。
2. 手をこまねいて、一生懸命に料理を作った。
3. 事態の悪化をただ手をこまねいて見ているしかなかった。
4. 寒かったので、手をこまねいて温めた。

問14　「一か八か」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

1. 一か八か、明日の遠足は晴れるといいなと思っている。
2. 一か八か、教科書を読んでテストの準備を整えた。
3. 一か八か、今日の夕食はカレーライスを作ることにした。
4. 一か八か、この難しい試験に全力をかけて挑戦してみる。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「慣用句」のプリント一覧がひらきます